

九州大学
先導物質化学研究所
客員教授 講演会

開催日時：
H25年5月20日(月)
午後15:00～16:30

開催場所：
九州大学
伊都キャンパス
CE40棟 2F
多目的セミナー室

フィルムエレクトロニクスに 向けた高分子ハイブリッド ナノ集積体

講師 宮下徳治
東北大学 名誉教授



ハードな無機半導体のエレクトロニクスに対し、有機またはハイブリッド系のナノ材料を用いたフレキシブルデバイスへの興味が持たれている。スマートフォン、タブレット系デバイスへの展開、プリントドエレクトロニクスなどが議論されている。その基盤技術として、パッシブ基板としてのフレキブル、耐熱性ハイブリッドフィルムの作製、アクティブ有機ナノ素子の構築、および印刷法を用いたデバイス創製プロセスがあげられる。我々はパッシブな基板製作としてはシルセスキオキサンをベースとしたハイブリッドポリマーの開発、ナノデバイス素子開発では高分子ナノシート集積体を用いた電子・光機能素子の開発、また、フィルム上への有機素子を転写する技術としてオフセットやグラビア印刷に代表される転写型印刷法プロセスについて研究開発を行っている。

本セミナーでは、主に、高分子ナノシートの素子開発および透明、耐熱性新規ハイブリッドポリマーフィルム創製について紹介する。また、近年、民間数社と取り組んでいるセットプリントドデバイス技術 (PDTEC) 研究会について時間があれば紹介したい。

問い合わせ先 先導物質化学研究所 (箱崎地区)
玉田薫 (092-642-2727)